空気より軽い12A・13Aガス用

OSAKA GAS

住宅用火災（熱式）・
ガス・CO警報器

家庭用

ぴこぴこ

型番 (4)101-0205 型

取扱説明書

保証書付

JGN1KWGF 型

●住宅用火災(熱式)・ガス・CO警報器「ぴこぴこ」をお取り付けいただきありがとうございました。
●この取扱説明書は住宅用火災(熱式)・ガス・CO警報器「ぴこぴこ」の取扱方法を説明します。
●お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
●本取扱説明書は、保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
●本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、販売店(リース取扱店)または、最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。
●本警報器は、炎等の熱を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではなく、また、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●本警報器は炎等の熱を感知して、警報を発するものです。換気扇等により熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しない場合は、火災警報機能が働きません。
●本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働きません。

TK4L5673

警報器の機能について

■ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスや CO が規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

《お断わり》

● ガス検知部にガスや COが到達しないときは、警報機能が働きません。
● ガスもれや不完全燃焼による COの発生を未然に防止する装置ではありません。
ガスもれや CO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
● 取付場所近くでのガスもれや CO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスや COには警報を発しないことがあります。

■火災警報機能

火災などにより、警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以上になると、それを感知して警報を発します。

《お断わり》

● 換気扇などにより熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しないときは、警報機能が働きません。
● 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
● 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
⚠警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「必ず行う」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「火気厳禁」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「ぬれ手禁止」事項を示しています。
- 「一般的な禁止」事項を示しています。
- 「接触禁止」事項を示しています。

⚠危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発の恐れがあります。

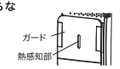
- **ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。**
- **マッチやライターなど、火気を使わないでください。**
- **換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切をしないでください。**
- **電源プラグを抜かないでください。**
- **部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。**

CO警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。

- **CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。**
- **火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。**
- **部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。**

⚠警告

- **常に電源が入っていること（電源ランプ（緑）点灯）を確認してください。**
電源が入っていないと火災、ガスもれ、CO が発生しても、警報を発しません。
- **設置後、5年（有効期限）を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。**
誤動作または正常に作動しない恐れがあります。
有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。
- **噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P.9・10参照)**
●警報器をポリ袋などで覆う。
●噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。
誤作動の原因となります。
- **警報器や電源プラグを水につけたり、水をかけたりしないでください。**
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。
- **分解や改造はしないでください。**
故障の原因となります。
- **ガードの中にある熱感知部にはさわらないでください。**
火災を感知しなくなる恐れがあります。



- **衝撃を与えないでください。**
故障の原因となります。
- **警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。**
火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。
- **電源コードにステップルや釘などを打たないでください。**
火災の原因となります。
- **ガス検知部は、絶対にふさがないでください。**
ガスもれまたはCOを検知しなくなります。

- **煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。**
点検ガスにフロンガスが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。

電源プラグは、以下の内容を必ず守ってください。
火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

- **電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。**
火災の原因となります。
- **電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。**
感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損の恐れがあります。
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
感電する恐れがあります。
- **警報器の電源プラグに大きな力をかけないでください。**

⚠注意

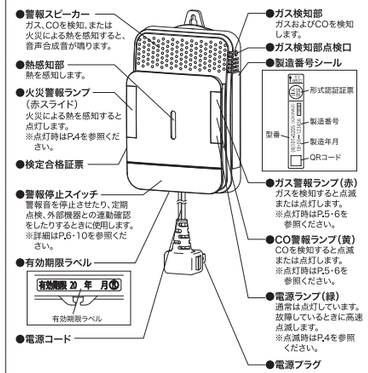
- **警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。**
感電やけがの原因となります。
- **警報器の取り外し・取り付けを行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。**
転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。
- **取付位置を移動させないでください。**
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。
- **警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。**
警報の遅れの原因となります。
- **警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。**
ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。
- **この商品は検定合格品ですが、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しませんので、それらの用途には使用できません。**

対象ガス

⚠注意

● この警報器は火災（火災等による熱）、都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）および燃焼排ガスの CO を検知します。
● 都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）供給区域外では、お使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき



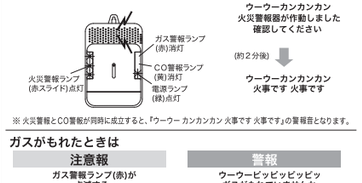
■ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点灯、点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点滅	0.5秒ごとに1回点滅	0.5秒 点滅周期
高速点滅	0.25秒ごとに1回点滅	0.25秒 点滅周期
ゆっくり点滅	3秒ごとに2秒点灯	3秒 点滅周期

警報器のお知らせ機能について

火災による熱が発生したときは



※ 火災警報とCO警報が同時に成立すると、「ウーウー カンカンカン 火事です 火事です」の警報音となります。

ガスがもれたときは

注意報

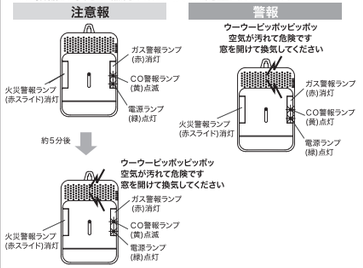
ガス警報ランプ(赤)が点滅する

警報

ウーウーピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

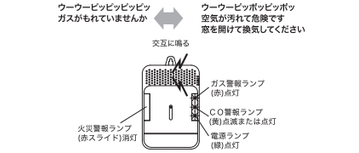
注意報



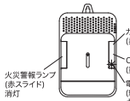
警報

ウーウーピッピッピッピッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

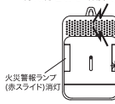


有効期限が過ぎたときは
有効期限を半年以上過ぎると、電源ランプ（緑）がゆっくり点滅します。
※ 販売店までご連絡ください。

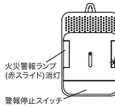


故障しているときは
故障が発生すると、「故障です」が1回鳴り、電源ランプ（緑）が高速点滅します。
その後に「ピッピッピッ」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約10分ごとに「故障です」が鳴ります。
それ以降も同じ警報を繰り返します。

故障です
その後、約1分ごとに ピッピッピッ
約10分ごとに 故障です

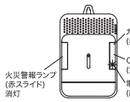


ただし、警報停止スイッチを押すと、警報音は約36時間停止します。
電源ランプ（緑）の高速点滅は止まりません。
※販売店までご連絡ください。
※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

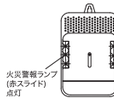


使用方法

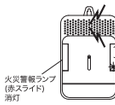
1 電源プラグをコンセントに差し込む。
電源ランプ（緑）が点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。



2 電源に接続してから約30秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。
＜過去約10日以内に警報が作動した場合＞
最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。
（鳴動原因表示機能によるものです。）



3 「正常です」と鳴って電源ランプ（緑）が点灯し、監視状態に入ります。
＜警報器が故障している場合＞
「正常です」と鳴らずに P.4 上部に記載している故障発生時の動作となります。
※販売店までご連絡ください。



警報器が作動したら

1 『ウーウー カンカンカン　火災警報器が作動しました　確認してください』または『ウーウーカンカンカン　火事です　火事です』

と鳴ったときの処置のしかた
【火災警報ランプ（赤スライド）が点灯】＜火災警報＞

『ウーウー カンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください』の警報音が約2分間継続すると、または、火災警報とCO警報が同時に成立すると、『ウーウー カンカンカン 火事です 火事です』と警報音が変わります。

1 火元の確認をする。

2 必要な手段をとる。
119 番への通報

初期消火

天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓をあけるときは大阪ガスにご連絡ください。

警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以下になると、警報音が鳴りやみ、火災警報ランプ（赤スライド）が消灯します。

《お断わり》
●火災以外の熱などで火災警報を発している場合でも、ガス警報ランプ（赤）およびCO警報ランプ（黄）の点灯、点滅の有無を確認してください。
※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガス警報およびCO警報は発しません。
●ガス警報ランプ（赤）およびCO警報ランプ（黄）が点灯している場合は、P.5・6の処置を行ってください。

＜火災以外の熱などで火災警報を発しているとき＞
P.6・7の処置を行ってください。

2 ガス警報ランプ（赤）が点滅しているときの処置のしかた

＜ガス注意報＞

1 ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、ガス警報ランプ（赤）は消灯します。

2 原因を確認する。
ガス濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.7 参照)

《お断わり》
外部機器と連動している場合、ガス注意報では外部機器は連動動作しません。

3 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた

【ガス警報ランプ（赤）が点灯】＜ガス警報＞

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【ガス警報ランプ（赤）消灯】

4 ガスもれの原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

4 CO警報ランプ（黄）が点滅しているときの処置のしかた

＜CO注意報＞

1 ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、CO警報ランプ（黄）は消灯します。

2 原因を確認する。
CO濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.7 参照)

《お断わり》
●外部機器と連動している場合、CO注意報（黄ランプの点滅のみであり、CO警報音が鳴っていない状態）では、外部機器は連動動作しません。
※ CO警報ランプ（黄）の点滅が約5分間継続すると、「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴りはじめます。

5 『ウーウー ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です窓を開けて換気してください』

と鳴ったときの処置のしかた
【CO警報ランプ（黄）が点滅または点灯】＜CO警報＞

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【CO警報ランプ（黄）消灯】

6 『ウーウー ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか』と『ウーウー ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください』

が交互に鳴ったときの処置のしかた
【ガス警報ランプ（赤）が点灯、CO警報ランプ（黄）が点滅または点灯】
〈ガス警報とCO警報の同時警報〉

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

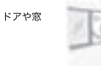
ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【ガス警報ランプ（赤）・CO警報ランプ（黄）消灯】

4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

7 部屋の外から警報音に気づいたときは

1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓をあけるときは大阪ガスにご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、ガス警報ランプ（赤）・CO警報ランプ（黄）の消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

最寄りの大阪ガスへ連絡する。

おねがい

●ただぴた警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
●ガス機器以外の燃焼機器（石油ファンヒーター、石油ストーブなど）が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

8 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスや CO 以外の空気の汚れで、ガス警報ランプ（赤）やCO警報ランプ（黄）が点滅したり、警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉
警報停止スイッチを押すと
●ガス警報の警報音は1回だけ5分間止めることができます。
● CO警報は、CO警報ランプ（黄）が点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回だけ5分間止めることができます。
※警報器周囲の空気の汚れが十分換気できていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。
※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。
空気の汚れが十分換気できていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲の空気の汚れがなくなると、ランプの点滅や警報音が止まる。

火災以外の熱で火災警報音が鳴ったときは

〈火災警報音を止めたいとき〉
警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。
●火災警報音を5分間止めることができます。
※警報器周囲の熱が規定温度（約65℃）以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。5分後に再警報してもスイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。
※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。
熱が規定温度(約65℃)以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以下になると、警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉めきられていた部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の溶剤成分（シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス［エアコンの冷媒ガスなど］）の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

〈ガス警報・ＣＯ警報〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤、香油（アロマオイル）などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はＡＣ１００Ｖ±１０Ｖです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしていませんか。点火初期時にＣＯが発生し、ＣＯ警報器を発することがあります。

〈火災警報〉

- 調理中の熱がこもっていませんか。
- エアコンなどの空調機器の熱が直接警報器に当たっていませんか。
- 熱感知部が故障している可能性があります。

おねがい

ガスもれやＣＯ発生ではなく、空気の汚れなどにより、ガス警報ランプ（赤）・ＣＯ警報ランプ（黄）が点滅・点灯したり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

ランプ表示・警報音出力の事象一覧表

ランプ 緑（電源）	ランプ 黄（CO警報）	ランプ 赤（ガス警報）	ランプ 赤スライド（火災警報）	音声内容	事象	対応方法
●	○	○	○	なし	通常動作（監視中）	―
●	○	◎	○	なし	ガス注意報	P.5 参照
●	○	●	○	ガス警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれています」	ガス警報	P.5･6 参照
●	◎	○	○	なし	CO注意報	P.5 参照
●	○または●	○	○	CO警報音声「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報	P.5･6 参照
●	◎	○	○	なし	ガス注意報とCO注意報	P.5 参照
●	○	●	○	ガス警報音声「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれています」	ガス警報とCO注意報	P.5･6 参照
●	○または●	○	○	CO警報音声「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報とガス注意報	P.5･6 参照
●	○または●	●	○	ガス警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と、CO警報音声「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」の交互音声	ガス警報とCO警報	P.5･6 参照
高速点滅	○	○	○	故障警報音声「故障です。（10 少こと）「ピッピピッピッ」（1 分ごと）	故障警報（警報器が故障診断機能により故障と判断した状態）	販売店に連絡してください。
△	○	○	○	なし	有効期限切れ（警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態）	販売店に連絡してください。
●	○	○	●	火災警報音「ウーウー カンカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください。」2 分後の音声「ウーウー カンカンカンカン 火事です 火事です」	火災警報	P.4 参照
●	○	○	●		火災警報とガス注意報	
●	○	●	●		火災警報とガス警報	
●	○	○	●		火災警報とCO注意報	
●	○	●	●		火災警報とガス注意報とCO注意報	
●	○	○	●		火災警報とガス警報とCO注意報	
●	○または●	○	●		火災警報とCO警報	
●	○または●	○	●	火災警報音「ウーウー カンカンカンカン 火事です 火事です」	火災警報とガス注意報とCO警報	
●	○または●	●	●		火災警報とガス警報とCO警報	

●：点灯、◎：点滅、○：消灯、△：ゆっくり点滅
※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。
この場合、販売店にご連絡ください。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く。

《お断わり》
外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続していてときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器の警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

2 警報器を取り外す。(P.8 参照)

3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。

●警報器表面・壁面
布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。
●電源プラグ
乾いた布でふき取ってください。

おねがい

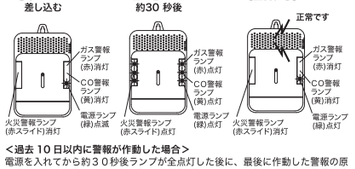
●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤など使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくガス警報ランプ（赤）が点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

4 警報器を取り付ける。(P.8 参照)

5 電源プラグをコンセントに差し込む。

●警報器の電源が入ります。
電源ランプ（緑）が点滅し、約３０秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って電源ランプ（緑）が点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
異常があれば「故障です」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。



<過去 10 日以内に警報が作動した場合>
電源を入れてから約３０秒後ランプが全点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約１秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）

警報器の取り外し・取り付けかた

■取付フックの場合

<取り外しかた>

1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。

2 本体を持ち上げて取り外す。

<取り付けかた>

1 警報器を取り付けフックに引っ掛ける。

<確認>
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

2 電源コードをコード振れ止めに取り付ける。

■木ねじの場合

<取り外しかた>

1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。

2 木ねじをゆるめて警報器を取り外す。

<注意>
強く引っ張ると取り付けている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。

<取り付けかた>

1 警報器を木ねじに引っ掛ける。

2 木ねじを締め付けて固定する。

3 電源コードをコード振れ止めに取り付ける。

<確認>
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

噴霧式殺虫剤を使用するときは

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

⚠ 警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。
警報器が作動しません。
電源プラグを抜かないでください。
電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに噴霧式殺虫剤を使用すると、噴霧後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。また、外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続していてときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

⚠ 注意

ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って、十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

1. 警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

<準備するもの>
●ポリ袋 (30cm×40cm・１枚)
ポリプロピレン製
（♻または >PP< 表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
●ひも（１本）
●粘着テープ

<処置のしかた>
①警報器を取り外してください。
(P.8 参照)

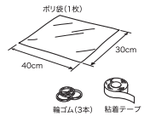
②警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。

③ポリ袋と電源コードの間にすき間ができないように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。

④ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。

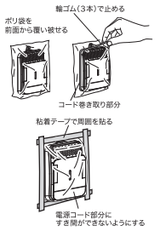
警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

<準備するもの>
●ポリ袋 (30cm×40cm・１枚)
ポリプロピレン製
（♻または >PP< 表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
●輪ゴム（３本）
●粘着テープ
養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。



<処置のしかた>
①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード巻き取り部分を輪ゴム（３本）でしっかり止めてください。

②ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼り付けてください。
ポリ袋と壁面の間にすき間ができないように、粘着テープを貼ってください。
特に、ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に注意してください。
※壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けができない場合、①のみの処置でも一定の効果はあります。



2. 噴霧式殺虫剤を噴霧する

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

●部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
●噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
警報器の真下は避けてください。
●ポリ袋と壁面の間にすき間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
●警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
●経年変化によって、ガス検知部が敏感になっていると。

3. ポリ袋を取り外す

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。
警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。

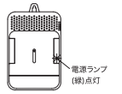
おねがい

粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

定期点検

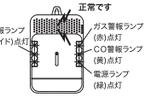
日常点検

日常、警報器の電源ランプ（緑）が点灯していることを確認してください。
※電源ランプ（緑）が消灯もしくは高速点滅している場合は、販売店に連絡してください。
(P.11「故障かな？と思ったら」を参照ください。)



定期点検

警報器が正常に動作していることを確認するために、警報停止スイッチにふれ点検を行ってください。
①警報停止スイッチを約１秒間押すと「ピッ」と鳴り電源ランプ（緑）が点滅します。
②「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離す。
③全ランプが１秒間点灯し、「正常です」が鳴り、終了します。
※警報停止スイッチを約３秒以上押した場合、次項の「外部機器との連動確認機能について」の点検内容となりますので、ご注意ください。



外部機器との連動確認機能について

⚠ 警告

●点検するときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

●外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。
●マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

<連動確認の操作方法>
①警報停止スイッチを約３秒間押すと、「ピッピッ」と開始音が鳴ります。

②警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。（外部出力信号が１分間出力されます。有電圧は１２Ｖと１８Ｖが交互に出力されます。火災警報時の信号も同時に出力します。）

動作順	音声内容	ランプ 緑（電源）	ランプ 黄（CO警報）	ランプ 赤（ガス警報）	ランプ 赤スライド（火災警報）	火災出力	有電圧出力（12V ⇔ 18V）
1	「ウーウーカンカンカンカン 火事です 火事です」	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
2	「ウーウーカンカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください」	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
3	「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	点滅	消灯	点灯	消灯	ON	ON
4	「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	点滅	点灯	消灯	消灯	ON	ON
5	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

③約１分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態（電源ランプ（緑）点灯）に戻ります。
※１分以内に終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと「ピー」と鳴り、終了します。

故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
●電源ランプ（緑）が消灯している。●警報器が正常にもかかわらず、外部機器が鳴る。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	停電していませんか。	停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。
警報器が温かくなっている。	―	通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。
電源ランプ（緑）が高速点滅している。	警報器の故障を知らせています。	販売店に連絡してください。（機器故障音声機能）
火災、ガスもれ、COの発生ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.7 参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴りやまない場合は最寄りの大阪ガスへ連絡してください。
	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。（有償）
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
電源を入れたときに、赤ランプや黄ランプが長く点灯する。	10日以内に警報を発していませんか。	噴射原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P.35 参照)
電源ランプ（緑）がゆっくり点滅している。	警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。(P.44 参照)

アフターサービスについて

■この警報器は、５年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし、保証書裏面の「５」の項目に該当する場合は、この限りではありません。
保証書をご参照ください。
■この警報器の有効期限は、ご使用開始後５年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、５年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
■「リース契約書」もしくは「警報器登録票」に販売店（リース取扱店）名の記入のないものは保証内容が無効となることがありますので、お取り付け時にご確認ください。
■アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
■警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
■作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
■引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

登録

この警報器は、コンピューターに登録して管理させていただきます。登録は、取り付け時もしくは開栓時に行い、登録済みの警報器の有効期限ラベルには有効期限が記入されていますので、ご確認ください。
また、有効期限の記入のないラベルは未登録の場合がありますので、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
(保証書と有効期限ラベルの期日が異なる場合は、有効期限ラベルの期日が、この警報器の有効期限です。)
有効期限の約１ヶ月前に、登録されているものについては、当社よりお知らせします。有効期限を過ぎた場合は、新しいものとお取り替えください。

廃棄について

<リース契約の警報器の廃棄>
有効期限が切れた警報器は、販売店（リース取扱店）にて回収いたします。
<お買い上げいただいた警報器の廃棄>
お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。

仕様

項目		仕様
火災警報機能	種別	定温式住宅用防災警報器
	型式番号	住警第３０～１号
	検知原理	半導体式（サーミスタ使用）
	公称作動温度	６５℃
	外部出力信号	警報時 a 接点 ON 無電圧 接点容量（DC24V、0.1A） 無極性
	住宅用防災警報器	検定合格品
ガス警報機能・CO警報機能	対象ガス	都市ガス（空気より軽い12A･13Aガス用） 燃焼排ガス中の CO
	検知方式	半導体式
	都市ガス注意報 作動条件	ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
	都市ガス注意報 表示・発報方式	ガス警報ランプ（赤）点滅 警報音無し
	都市ガス警報 作動条件	＋爆発下限界濃度の１／４の都市ガスに対し６０秒以内に警報
	都市ガス警報 表示・発報方式	ガス警報ランプ（赤）点灯 音声合成警報音
	燃焼排ガス中のCO注意報 作動条件	３００ｐｐｍのＣＯに対し　５分以内に注意報
	燃焼排ガス中のCO注意報 表示・発報方式	ＣＯ警報ランプ（黄）点滅 警報音無し
	燃焼排ガス中のCO警報 作動条件	５５０ｐｐｍのＣＯに対し　５分以内に警報 ３００ｐｐｍのＣＯに対し　１０分以内に警報
	燃焼排ガス中のCO警報 表示・発報方式	ＣＯ警報ランプ（黄）点灯または点滅 音声合成警報音
	外部出力信号	有電圧出力 ３段階有電圧２線式 (監視時 DC6V、電源OFF時・故障時 0V、ガス警報時 DC12V、CO警報時 DC18V)
	一般財団法人日本ガス機器検査協会（ＪＩＡ）都市ガス用ガス警報器検査規程　認証合格品	
共通仕様	警報音量	７０ｄＢ（Ａ）/ｍ以上
	電源	ＡＣ１００Ｖ±１０Ｖ　５０/６０Ｈｚ
	消費電力	監視時　約０.５Ｗ、警報時　約１.２Ｗ
	付属機能	通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
	使用温度範囲	０℃～＋４０℃（結露しないこと）
	寸法・質量	幅８５×高さ１２５×奥行き４０.５mm（突起部を除く）、約２６０ｇ
	電源コード	長さ２.５m（約２.２mは警報器背面に巻取可能）
	付属品	取扱説明書（保証書付）（本書）×１、リースシール×１

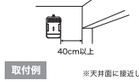
＊爆発は空気と ガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。
※マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

取付位置の確認

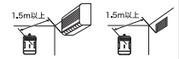
⚠ 注意

正しい取付位置に取り付けられていることを確認してください。
取り付けてはいけない場所に取り付けられていると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

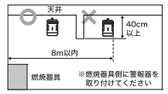
<正しい取付場所について>
●ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
●ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源ランプ（緑）の確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
●ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離で８ｍ以内、警報器の底面から天井面までの距離が２２～３０cm以内の位置に取り付けてください。
●たれ壁やはりから 40cm以上離してください。



●換気口など、空気の吹出口から 1.5m以上離してください。

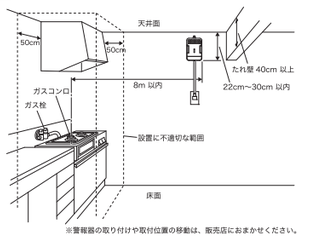


●天井面が 40cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



取付例

※天井面に接近して取り付けると、天井面が黒ずむ場合があります。

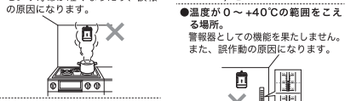


<取り付けてはいけない場所について>
以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

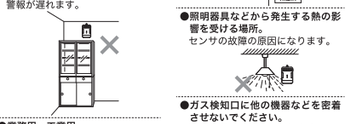
●**レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。**
アルコール等で警報することがあります。
●**換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。**
●**すき間風の入る場所。**
●**30cm以上（警報器含）のたれ壁などの下。**

●**たれ壁 40cm以上で区切られている場所。**
●**エアコンなどの吹出口に近い場所。**
警報器が遅れたり、検知できないことがあります。

●**燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。**
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



●**食器棚などの上部。**
警報が遅れます。



●**業務用・工業用。**
家庭用です。業務用・工業用ではありません。
●**屋外。**
屋外用ではありません。

●**レンジフードの上部。**
●**ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。**
●**使用時でないと電源を入れない場所。**
警報器としての機能を果たしません。

●**カーテンウォールなどで仕切られた場所。**
警報が遅れます。

●**振動、衝撃の激しい場所。**
センサの故障の原因になります。

●**浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。**
感電や電気的故障の原因になります。

●**温度が０～＋40℃の範囲をこえる場所。**
警報器としての機能を果たしません。
また、誤作動の原因になります。

●**照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。**
センサの故障の原因になります。

●**ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。**
警報が遅れることがあります。

●ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
●お使いになった後は、器具栓だけではなくガス栓も必ず閉めてください。
●ゴム管は、良質の大阪ガス製 マーク入りのものをお使いください。そして、ガス栓についている赤線のところまで深くさし込み、必ずゴム管止めでとめてください。
●お使いにならないガス栓にはゴムキャップをはめてください。
●古くなったゴム管はお取り替えください。

ガスもれ、CO発生の通報は…

		<ナビダ 24 時間>
大阪導管部	〒550－0023 大阪市西区千代崎３丁目南２－３７	ナビダ 0120(0)19424
南部導管部	〒590－0973 堺市堺区住吉橋町２－２－１９	ナビダ 0120(3)19424
北東部導管部	〒578－8502 東大阪市稲葉２－３－１７	ナビダ 0120(5)19424
兵庫導管部	〒650－0046 神戸市中央区港島中町４－５－３	ナビダ 0120(7)19424
京滋導管部	〒600－8815 京都市下京区中堂寺粟田町９３	ナビダ 0120(8)19424

大阪ガスのお問い合わせ先

		<お客さまセンター>
■リビング事業部　大阪事務所	〒550－0023 大阪市西区千代崎３丁目南２－３７	ナビダ 0120(0)94817
■リビング事業部　南部事務所	〒590－0973 堺市堺区住吉橋町２－２－１９	ナビダ 0120(3)94817
■リビング事業部　北部事務所	〒569－8569 高槻市藤の里町３９－６	ナビダ 0120(5)94817
■リビング事業部　兵庫事務所	〒650－0044 神戸市中央区東川崎町１丁目８－２	ナビダ 0120(7)94817
■リビング事業部　京都事務所	〒600－8815 京都市下京区中堂寺粟田町９３	ナビダ 0120(8)94817
□ＦＡＸによるお問い合わせ	〒550－0023 大阪市西区千代崎３丁目南２－３７	FAX 0120(6)94817

※受付時間は、月曜～土曜9:00 ～ 19:00、日祝日9:00 ～ 17:00となっております。
※お電話のおかけ間違いのないよう お願いいたします。
※所在地・電話番号などは変更する場合がありますので、その節はご容赦願います。

大阪ガス株式会社

W123KOT_(02)

空気より軽い 12・A・13 A ガス用

住宅用火災（熱式）・
ガス・CO 警報器

OSAKA GAS

家庭用

ぴこぴこ®

型番 (4) 101-0205型

取扱説明書 保証書付

XW-123K型

●住宅用火災（熱式）・ガス・CO 警報器「ぴこぴこ」をお取り付けいただきありがとうございました。
●この取扱説明書は住宅用火災 (熱式)・ガス・CO 警報器「ぴこぴこ」の取扱方法を説明します。
●お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
●本取扱説明書は、保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでも ご覧いただけるようにしておいてください。
●本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、販売店 (リース取扱店) または、最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。
●本警報器は、炎等の熱を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではなく、また、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●本警報器は、ガスや CO を検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼による CO の発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれや CO による損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれや CO などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●本警報器は炎等の熱を感知して、警報を発するものです。換気扇等により熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しない場合は、火災警報機能が働きません。
●本警報器は、ガスや CO を検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスや CO が到達しない場合は、ガス警報機能や CO 警報機能が働きません。

警報器の機能について

■ガス警報機能・CO 警報機能

警報器周囲のガスや CO が規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

《お断わり》
● ガス検知部にガスや CO が到達しないときは、警報機能が働きません。
● ガスもれや不完全燃焼による CO の発生を未然に防止する装置ではありません。
ガスもれや CO 発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
● 取付場所近くでのガスもれや CO 発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスや CO には警報を発しないことがあります。

■火災警報機能

火災などにより、警報器周囲の温度が規定温度（約 65℃）以上になると、それを感知して警報を発します。

《お断わり》
● 換気扇などにより熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しないときは、警報機能が働きません。
● 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
● 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ず守ります。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
⚠警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「必ず行う」事項を示しています。	「水ぬれ禁止」事項を示しています。
「火気厳禁」事項を示しています。	「分解禁止」事項を示しています。
「ぬれ手禁止」事項を示しています。	「一般的な禁止」事項を示しています。
「接触禁止」事項を示しています。	

⚠ 危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

電源プラグを抜かないでください。

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

CO 警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。
CO 濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。

CO 警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

⚠ 警告

常に電源が入っていること（電源ランプ（緑）点灯）を確認してください。
電源が入っていないと火災、ガスもれ、CO が発生しても、警報を発しません。

設置後、5 年（有効期限）を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。
誤動作または正常に作動しない恐れがあります。
有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P.9･10 参照)
●警報器をポリ袋などで覆う。
●噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。
誤作動の原因となります。

警報器や電源プラグを水につけたり、水をかけたりしないでください。
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

分解や改造はしないでください。
故障の原因となります。

ガードの中にある熱感知部にはさわらないでください。
火災を感知しなくなる恐れがあります。

ガード
熱感知部

衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。
火災、ガスもれ、CO が発生しても、警報を発しません。

電源コードにステプルや釘などを打たないでください。
火災の原因となります。

ガス検知部は、絶対にふさがないでください。
ガスもれまたは CO を検知しなくなります。

煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。
点検ガスにフロンガスが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。

電源プラグは、以下の内容を必ず守ってください。
火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。
火災の原因となります。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損の恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電する恐れがあります。

警報器の電源プラグに大きな力をかけないでください。

⚠ 注意

警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。
感電やけがの原因となります。

警報器の取り外し・取り付けを行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。
転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

取付位置を移動させないでください。
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。
警報の遅れの原因となります。

警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。
ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。

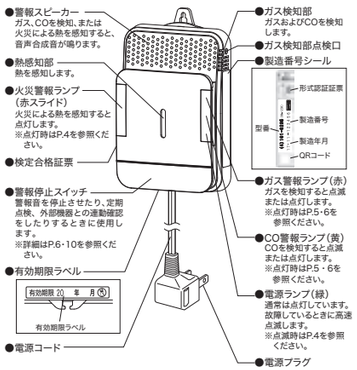
この商品は検定合格品ですが、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しませんので、それらの用途には使用できません。

対象ガス

⚠ 注意

● この警報器は火災（火災等による熱）、都市ガス（空気より軽い 12A・13A ガス）および燃焼排ガス中の CO を検知します。
● 都市ガス（空気より軽い 12A・13A ガス）供給区域外では、お使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき



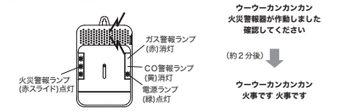
■ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点灯、点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点滅	0.5 秒ごとに 1 回点滅	0.5 秒 → 点滅周期
高速点滅	0.25 秒ごとに 1 回点滅	0.25 秒 → 点滅周期
ゆっくり点滅	3 秒ごとに 2 秒点灯	3 秒 → 点滅周期

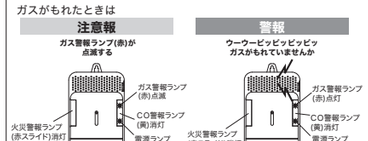
警報器のお知らせ機能について

火災による熱が発生したときは

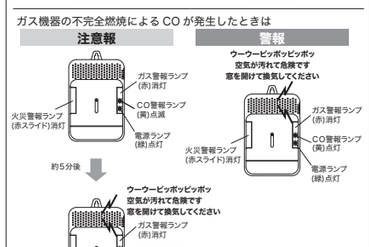


※火災警報と CO 警報が同時に成立すると、「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」の警報音となります。

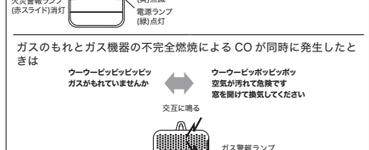
ガスがもれたときは



ガス機器の不完全燃焼による CO が発生したときは



ガスのもれとガス機器の不完全燃焼による CO が同時に発生したときは



有効期限が過ぎたときは
有効期限を半年以上過ぎると、電源ランプ（緑）がゆっくり点滅します。
※ 販売店までご連絡ください。

故障しているときは
故障が発生すると、「故障です」が 1 回鳴り、電源ランプ (緑) が高速点滅します。
その後に「ピッピッピッ」と約 1 分ごとに繰り返し鳴り、約 10 分ごとに「故障です」が鳴ります。
それ以降も同じ警報を繰り返します。

故障です
その後、約 1 分ごとに **ピッピッピッ**
約 10 分ごとに **故障です**

ただし、警報停止スイッチを押すと、警報音は約 36 時間停止します。
電源ランプ (緑) の高速点滅は止まりません。
※販売店までご連絡ください。
※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

使用方法

1 電源プラグをコンセントに差し込む。
電源ランプ (緑) が点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。

2 電源に接続してから約 30 秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。
<過去約 10 日以内に警報が作動した場合>
最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約 1 秒間点灯します。
(鳴動原因表示機能によるものです。)

3 「正常です」と鳴って電源ランプ（緑）が点灯し、監視状態に入ります。
<警報器が故障している場合>
「正常です」と鳴らずに P.4 上部に記載している故障発生時の動作となります。
※販売店までご連絡ください。

正常です

警報器が作動したら

1 『ウーウー カンカンカン　火災警報器が作動しました　確認してください』または『ウーウーカンカンカン　火事です　火事です』と鳴ったときの処置のしかた

【火災警報ランプ（赤スライド）が点灯】<火災警報>

『ウーウー カンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください』の警報音が約 2 分間継続すると、または、火災警報と CO 警報が同時に成立すると、『ウーウー カンカンカン 火事です 火事です』と警報音が変わります。

1 火元の確認をする。

2 必要な手段をとる。
119 番への通報

初期消火

119

天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓を開けるときは大阪ガスにご連絡ください。

警報器周囲の温度が規定温度（約 65℃）以下になると、警報音が鳴りやみ、火災警報ランプ（赤スライド）が消灯します。

《お断わり》
●火災以外の熱などで火災警報を発している場合でも、ガス警報ランプ (赤) および CO 警報ランプ (黄) の点灯、点滅の有無を確認してください。
※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガス警報および CO 警報は発しません。
●ガス警報ランプ (赤) および CO 警報ランプ (黄) が点灯している場合は、P.5･6 の処置を行ってください。

<火災以外の熱などで火災警報を発しているとき>
P.6・7 の処置を行ってください。

2 ガス警報ランプ（赤）が点滅しているときの処置のしかた

<ガス注意報>

1 ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、ガス警報ランプ (赤) は消灯します。

2 原因を確認する。
ガス濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.7 参照)

《お断わり》
外部機器と連動している場合、ガス注意報では外部機器は連動動作しません。

3 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた

【ガス警報ランプ (赤) が点灯】<ガス警報>

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス栓や器具栓を閉める。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【ガス警報ランプ (赤) 消灯】

4 ガスもれの原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

4 CO 警報ランプ（黄）が点滅しているときの処置のしかた

< CO 注意報>

1 ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、CO 警報ランプ (黄) は消灯します。

2 原因を確認する。
CO 濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.7 参照)

《お断わり》
●外部機器と連動している場合、CO 注意報（黄ランプの点滅のみであり、CO 警報音が鳴っていない状態）では、外部機器は連動動作しません。
※ CO 警報ランプ(黄)の点滅が約 5 分間継続すると、『ウーウーピッポピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴りはじめます。

5 『ウーウー ピッポピッポッ　空気が汚れて危険です窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた

【CO 警報ランプ（黄）が点滅または点灯】< CO 警報>

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

3 CO がなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【CO 警報ランプ (黄) 消灯】

6 『ウーウー ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか』と『ウーウー ピッポピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた

【ガス警報ランプ (赤) が点灯、CO 警報ランプ (黄) が点滅または点灯】
（ガス警報と CO 警報の同時警報）

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

3 ガスや CO がなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【ガス警報ランプ (赤)・CO 警報ランプ (黄) 消灯】

4 ガスもれや CO 発生の原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

7 部屋の外から警報音に気づいたときは

1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓を開けるときは大阪ガスにご連絡ください。

3 ガスや CO がなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、ガス警報ランプ (赤)・CO 警報ランプ (黄) の消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 ガスもれやＣＯ発生の原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

最寄りの大阪ガスへ連絡する。

おねがい

●たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
●ガス機器以外の燃焼機器 (石油ファンヒーター、石油ストーブなど) が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が 30 秒～60 秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が 30 秒～ 60 秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

8 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスや CO 以外の空気の汚れで、ガス警報ランプ（赤）や CO 警報ランプ（黄）が点滅したり、警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉
警報停止スイッチを押すと
●ガス警報の警報音は 1 回だけ 5 分間止めることができます。
● CO 警報は、CO 警報ランプ (黄) が点滅し CO 警報音が鳴っている場合のみ、警報音を 1 回だけ 5 分間止めることができます。
※警報器周囲の空気の汚れが十分換気できていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。
※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。
空気の汚れが十分換気できていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲の空気の汚れがなくなると、ランプの点滅や警報音が止まる。

火災以外の熱で火災警報音が鳴ったときは

〈火災警報音を止めたいとき〉
警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。
●火災警報音を 5 分間止めることができます。
※警報器周囲の熱が規定温度 (約 65℃) 以下になっていない場合は、5 分後に再び火災警報を発します。5 分後に再警報してもスイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。
※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。
熱が規定温度 (約 65℃) 以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲の温度が規定温度 (約 65℃) 以下になると、警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉めきられていた部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分（シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス［エアコンの冷媒ガスなど］）の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

〈ガス警報・ＣＯ警報〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤、香油（アロマオイル）などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はＡＣ１００Ｖ±１０Ｖです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしていませんか。点火初期時にＣＯが発生し、ＣＯ警報器を発することがあります。

〈火災警報〉

- 調理中の熱がこもっていませんか。
- エアコンなどの空調機器の熱が直接警報器に当たっていませんか。
- 熱感知部が故障している可能性があります。

おねがい

ガスもれやＣＯ発生ではなく、空気の汚れなどにより、ガス警報ランプ（赤）・ＣＯ警報ランプ（黄）が点滅・点灯したり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

ランプ表示・警報音出力の事象一覧表

ランプ 緑（電源）	ランプ 黄（CO警報）	ランプ 赤（ガス警報）	ランプ 赤スライド（火災警報）	音声内容	事象	対応方法
●	○	○	○	なし	通常動作（監視中）	―
●	○	○	○	なし	ガス注意報	P.5 参照
●	○	●	○	ガス警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれています」	ガス警報	P.5-6 参照
●	○	○	○	なし	CO 注意報	P.5 参照
●	○または●	○	○	CO 警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO 警報	P.5-6 参照
●	○	○	○	なし	ガス注意報と CO 注意報	P.5 参照
●	○	●	○	ガス警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれています」	ガス警報と CO 注意報	P.5-6 参照
●	○または●	○	○	CO 警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO 警報とガス注意報	P.5-6 参照
●	○または●	●	○	ガス警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれています」と、CO 警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」の交互音声	ガス警報と CO 警報	P.5-6 参照
高速点滅	○	○	○	故障警報音声「故障です」（10 分ごと）「ピッピッピッ」（1 分ごと）	故障警報（警報器が故障診断機能により故障と判断した状態）	販売店に連絡してください。
△	○	○	○	なし	有効期限切れ（警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態）	販売店に連絡してください。
●	○	○	●	火災警報音「ウーウー カンカンカンカン 火事です 火事です」	火災警報	P.4 参照
●	○	○	●		火災警報とガス注意報	
●	○	●	●		火災警報とガス警報	
●	○	○	●	火災警報が作動しました 確認してください。2 分後の音声「ウーウー カンカンカンカン 火事です 火事です」	火災警報と CO 注意報	
●	○	○	●		火災警報とガス注意報と CO 注意報	
●	○	●	●		火災警報とガス警報と CO 注意報	
●	○または●	○	●		火災警報と CO 警報	
●	○または●	○	●	火災警報音「ウーウー カンカンカンカン 火事です 火事です」	火災警報とガス注意報と CO 警報	
●	○または●	●	●		火災警報とガス警報と CO 警報	

●：点灯、◎：点滅、○：消灯、△：ゆっくり点滅
※故障したときは、上記以外の警報音を発する場合があります。
この場合、販売店にご連絡ください。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く。

《お断わり》
外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器の警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

2 警報器を取り外す。(P.8 参照)

3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。

●警報器表面・壁面
布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。
●電源プラグ
乾いた布でふき取ってください。

おねがい

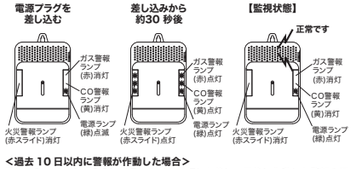
●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくガス警報ランプ（赤）が点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

4 警報器を取り付ける。(P.8 参照)

5 電源プラグをコンセントに差し込む。

●警報器の電源が入ります。
電源ランプ（緑）が点滅し、約 30 秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って電源ランプ（緑）が点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
異常があれば「故障です」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。



<過去 10 日以内に警報が作動した場合>
電源を入れてから約３０秒後ランプが全点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約１秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）

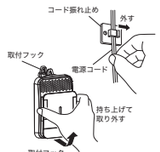
警報器の取り外し・取り付けかた

■取付フックの場合

<取り外しかた>

1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。

2 本体を持ち上げて取り外す。



<取り付けかた>

1 警報器を取り付けフックに引っ掛ける。

<確認>
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

2 電源コードをコード振れ止めに取り付ける。

■木ねじの場合

<取り外しかた>

1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。

2 木ねじをゆるめて警報器を取り外す。

<注意>
強く引っ張ると取り付けている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。

<取り付けかた>

1 警報器を木ねじに引っ掛ける。

2 木ねじを締め付けて固定する。

3 電源コードをコード振れ止めに取り付ける。

<確認>
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

噴霧式殺虫剤を使用するときは

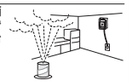
噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

⚠ 警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。
警報器が作動しません。
電源プラグを抜かないでください。
電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに噴霧式殺虫剤を使用すると、噴霧後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。また、外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

⚠ 注意

ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりと踏み台を使って、十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。



1. 警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

<準備するもの>
●ポリ袋（30cm × 40cm・１枚）
ポリプロピレン製
（㊐または >PP< 表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
●ひも（１本）
●粘着テープ

<処置のしかた>
①警報器を取り外してください。
(P.8 参照)

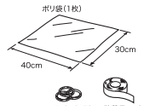
②警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。

③ポリ袋と電源コードの間にすき間ができないように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。

④ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。

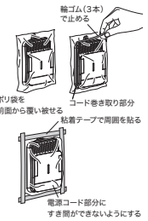
警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

<準備するもの>
●ポリ袋（30cm × 40cm・１枚）
ポリプロピレン製
（㊐または >PP< 表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
●輪ゴム（３本）
●粘着テープ
養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。



<処置のしかた>
①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード巻き取り部分を輪ゴム（３本）でしっかり止めてください。

②ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼り付けてください。
ポリ袋と壁面の間にすき間ができないように、粘着テープを貼ってください。
特に、ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に注意してください。
※壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けができない場合、①のみの処置でも一定の効果はあります。



2. 噴霧式殺虫剤を噴霧する

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

●部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
●噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
警報器の真下は避けてください。
●ポリ袋と壁面の間にすき間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
●警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
●経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

3. ポリ袋を取り外す

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。
警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。

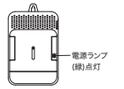
おねがい

粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

定期点検

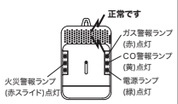
日常点検

日常、警報器の電源ランプ(緑)が点灯していることを確認してください。
※電源ランプ（緑）が消灯もしくは高速点滅している場合は、販売店に連絡してください。
(P.11「故障かな？と思ったら」を参照ください。)



定期点検

警報器が正常に動作していることを確認するために、警報停止スイッチによる点検を行ってください。
①警報停止スイッチを約１秒間押すと「ピッ」と鳴り電源ランプ（緑）が点滅します。
②「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離す。
③全ランプが１秒間点灯し、「正常です」が鳴り、終了します。
※警報停止スイッチを約３秒以上押した場合、次項の『外部機器との連動確認機能について』の点検内容となりますので、ご注意ください。



外部機器との連動確認機能について

⚠ 警告

点検するときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

●外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。
●マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

<連動確認の操作方法>
①警報停止スイッチを約３秒間押すと、「ピッピッ」と開始音が鳴ります。
②警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。（外部出力信号が１分間出力されます。有電圧は１２Ｖと１８Ｖが交互に出力されます。火災警報時の信号も同時に出力します。）

動作順	音声内容	ランプ 緑（電源）	ランプ 黄（CO警報）	ランプ 赤（ガス警報）	ランプ 赤スライド（火災警報）	火災出力	有電圧出力（12V ⇔ 18V）
1	「ウーウーカンカンカン火事です 火事です」	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
2	「ウーウーカンカンカン火災警報器が作動しました 確認してください」	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
3	「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	点滅	消灯	点灯	消灯	ON	ON
4	「ウーウーピッピッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	点滅	点灯	消灯	消灯	ON	ON
5	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

③約１分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態（電源ランプ（緑）点灯）に戻ります。
※１分以内に終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと「ピー」と鳴り、終了します。

故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
●電源ランプ（緑）が消灯している。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
●警報器が正常にもかかわらず、外部機器が鳴る。	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	停電していませんか。	停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。
警報器が温かくなっている。	――	通常によup、センサ部を加熱しています。異常ではありません。
電源ランプ（緑）が高速点滅している。	警報器の故障を知らせています。	販売店に連絡してください。（機器故障音声機能）
火災、ガスもれ、COの発生ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.7 参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音がよまります。換気やまない場合は最寄りの大阪ガスへ連絡してください。
	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。（有償）
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
電源を入れたときに、赤ランプや黄ランプが長く点灯する。	10日以内に警報器を発してはありますか。	場動原因表示機能によるものです。故障ではありません。(P.5 参照)
電源ランプ（緑）がゆっくり点滅している。	警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。(P.4 参照)

アフターサービスについて

■この警報器は、５年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし、保証書裏面の「５」の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
■この警報器の有効期限は、ご使用開始後５年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、５年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
■「リース契約書」もしくは「警報器登録票」に販売店（リース取扱店）名の記入のないものは保証内容が無効となることがありますので、お取り付け時にご確認ください。
■アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
■警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
■作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
■引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

登録

この警報器は、コンピューターに登録して管理させていただきます。
登録は、取り付け時もしくは開栓時に行い、登録済みの警報器の有効期限ラベルには有効期限が記入されていますので、ご確認ください。
また、有効期限の記入のないラベルは未登録の場合がありますので、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
（保証書と有効期限ラベルの期日が異なる場合は、有効期限ラベルの期日が、この警報器の有効期限です。）
有効期限の約１ヶ月前に、登録されているものについては、当社より知らせします。有効期限を過ぎた場合は、新しいものとお取り替えください。

廃棄について

<リース契約の警報器の廃棄>
有効期限が切れた警報器は、販売店（リース取扱店）にて回収いたします。
<お買い上げいただいた警報器の廃棄>
お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。

仕様

項目		仕様
火災警報機能	種別	定温式住宅用防災警報器
	型式番号	住警第３０－５号
	検知原理	半導体式（サーミスタ使用）
	公称作動温度	６５℃
	外部出力信号	警報時 a接点 ＯＮ 無電圧 接点容量（DC24V、0.1A） 無極性
	住宅用防災警報器	検定合格品
ガス警報機能	対象ガス	都市ガス（空気より軽い 12A･13A ガス用）燃焼排ガス中の CO
	検知方式	半導体式
	都市ガス注意 作動条件	ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
	都市ガス注意 表示・発報方式	ガス警報ランプ（赤）点滅
	都市ガス警報 作動条件	爆発下限界濃度の１／４の都市ガスに対し６０秒以内に警報
	都市ガス警報 表示・発報方式	ガス警報ランプ（赤）点灯
	燃焼排ガス中のＣＯ注意	音声合成警報音
	燃焼排ガス中のＣＯ注意 作動条件	３００ｐｐｍのＣＯに対し ５分以内に注意報
	燃焼排ガス中のＣＯ注意 表示・発報方式	ＣＯ警報ランプ（黄）点滅
	燃焼排ガス中のＣＯ注意	警報音無し
	燃焼排ガス中のＣＯ警報 作動条件	５５０ｐｐｍのＣＯに対し ５分以内に警報
		３００ｐｐｍのＣＯに対し １０分以内に警報
	燃焼排ガス中のＣＯ警報 表示・発報方式	ＣＯ警報ランプ（黄）点灯または点滅
	燃焼排ガス中のＣＯ警報	音声合成警報音
	外部出力信号	有電圧出力 3段階有電圧2線式（監視時 DC6V、電源OFF時・故障診断時 0V、ガス警報時 DC12V、CO警報時DC18V）
	一般財団法人日本ガス機器検査協会（ＪＩＡ）都市ガス用ガス警報器検査規程認証合格品	
共通仕様	警報音量	７０ｄＢ（Ａ）/ｍ以上
	電源	ＡＣ１００Ｖ±１０Ｖ ５０/６０Ｈｚ
	消費電力	監視時 約１．１Ｗ、警報時 約１．８Ｗ
	付属機能	通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
	使用温度範囲	０℃～＋４０℃（結露しないこと）
	寸法・質量	幅８５×高さ１２５×奥行き４０．５mm（突起部を除く）、約２６０ｇ
	電源コード	長さ２．５m（約２．２mは警報器背面に巻取可能）
	付属品	取扱説明書（保証書付）（本書）×１、リースシール×１

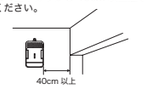
＊爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。
※マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

取付位置の確認

⚠ 注意

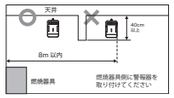
正しい取付位置に取り付けられていることを確認してください。
取り付けてはいけない場所に取り付けられていると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

<正しい取付場所について>
●ガス、ＣＯを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
●ガスやＣＯが滞留しやすい位置で、電源ランプ（緑）の確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
●ガス、ＣＯを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離で８ｍ以内、警報器の底面から天井面までの距離が２２～３０cm 以内の位置に取り付けてください。
●たれ壁やはりから 40cm 以上離してください。

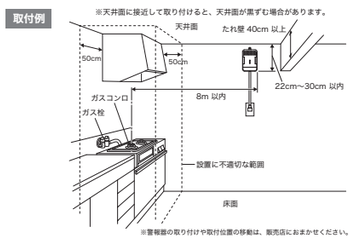


●換気口など、空気の吹出口から 1.5m 以上離してください。

●天井面が 40cm 以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



取付例



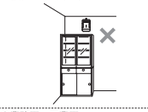
<取り付けてはいけない場所について>
以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

●レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。
アルコール等で警報することがあります。
●換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
●すき間風の入る場所。
● 30cm 以上（警報器含）のたれ壁などの下。

●たれ壁 40cm 以上で区切られている場所。
●エアコンなどの吹出口に近い場所。
警報が遅れたり、検知できないことがあります。

●燃焼器具などの排気、湯気、油煙および揮発アルコールの蒸気が直接かかる場所。
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。

●食器棚などの上部。
警報が遅れます。



●業務用・工業用。
家庭用です。業務用・工業用ではありません。
●屋外。
屋外ではありません。

●ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。
●使用時でないと電源を入れない場所。
警報器としての機能を果たしません。
●カーテンウォールなどで仕切られた場所。
警報が遅れます。

●振動、衝撃の激しい場所。
センサの故障の原因になります。

●浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。
感電や電気的故障の原因になります。

●温度が０～+40℃の範囲をこえる場所。
警報器としての機能を果たしません。
また、誤作動の原因になります。

●照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。
センサの故障の原因になります。

●ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。
警報が遅れることがあります。

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになった後は、器具栓だけではなくガス栓も必ず閉めてください。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製❤マーク入りのものをお使いください。そして、ガス栓については赤線のところまで深くさし込み、必ずゴム管止めでとめてください。
- お使いにならないガス栓にはゴムキャップをはめてください。
- 古くなったゴム管はお取り替えください。

ガスもれ、CO発生の通報は…

大阪導管部 〒550－0023 大阪市西区千代崎３丁目南２－３７ <ナイくよ 24 時間> FAX 0120(0)19424
南部導管部 〒590－0973 堺市堺区住吉橋町２－２－１９ FAX 0120(3)19424
北東部導管部 〒578－8502 東大阪市稲葉２－３－１７ FAX 0120(5)19424
兵庫導管部 〒650－0046 神戸市中央区港島中町４－５－３ FAX 0120(7)19424
京滋導管部 〒600－8815 京都市下京区中堂寺粟田町 93 FAX 0120(8)19424

大阪ガスのお問い合わせ先

■リビング事業部 大阪事務所 <お客さまセンター>
〒550－0023 大阪市西区千代崎３丁目南２－３７ FAX 0120(0)94817
■リビング事業部 南部事務所
〒590－0973 堺市堺区住吉橋町２－２－１９ FAX 0120(3)94817
■リビング事業部 北部事務所
〒569－8569 高槻市藤の里町 39－６ FAX 0120(5)94817
■リビング事業部 兵庫事務所
〒650－0044 神戸市中央区東川崎町１丁目８－２ FAX 0120(7)94817
■リビング事業部 京都事務所
〒600－8815 京都市下京区中堂寺粟田町 93 FAX 0120(8)94817
□ＦＡＸによるお問い合わせ
〒550－0023 大阪市西区千代崎３丁目南２－３７ FAX 0120(6)94817

※受付時間は、月曜～土曜9：00～19：00、日祝日9：00～17：00となっております。
※お電話のおかけ間違いのないようお願いいたします。
※所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。

大阪ガス株式会社

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。